

令和5年度 第6回在宅医療・介護連携推進業務運営会議（議事録）

日 時 令和6年3月21日（木）13時30分  
場 所 日本海総合病院 ミーティングルーム  
出席者 第6回在宅医療・介護連携推進業務運営会議 出席者名簿のとおり  
議 事 以下のとおり

1 開会

2 報告

- 1) 研修会について開催報告（在宅医療・介護連携支援室ポンテ）  
第2回2月29日の医療と介護の合同研修会について、資料1で報告した。
- 2) 在宅医療・介護支援室ポンテの今年度の活動報告と来年度の研修会計画について、資料2で報告した。

3 その他

各参加団体より

酒田市主事 来年度取り組みについて4月から第9期酒田市介護保険事業計画に取り組んでいく。切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築として、4つの場面ごとに目標を掲げ、医療・介護が連携して取り組めるような体制づくりに努める。①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取りに即して、来年度からの3年間取り組みを一緒に進めていきたい。

包括なかまち 第9期について、具体案や背景を教えてください。ポンテの来年度計画でも、看取りがテーマとしているが看取りについて要望が大きいか教えてください。

酒田市主事 ACPに繋がるが、例えば、病院では意思決定に困っているという声や身寄りのない方の支援として最後をどう迎えたいか、意思決定を確認していく必要があるとの意見がある。特に来年度は看取りというところに力を入れていきたい。

酒田市係長 酒田市では、これまでもエンディングノートを独自に作成し、普及に力を入れている。県の医療計画の中にも、看取りを重視しているので、今後も一般の方に普及していかなければと考えている。

ポルテ室長

酒田市では「人生会議ノート」の啓もう活動に力を入れているが、日本海総合病院では、患者がエンディングノートを活用しての対応は現在ない。エンディングノートの活用については、内容や書式など今後検討が必要だと考えている。

病院改革推進  
室長

病院とケアマネジャーや介護施設などの情報共有のためにアプリを活用して各医療機関や施設と連携を強化できる仕組みづくりを検討している。来年度中には導入・活用を目指している。

コマンドセンターについては具体的に話す段階には至っていない。今後、運営会議等で情報提供していきたい。

#### 4 閉会

以上

第6回在宅医療・介護連携推進業務運営会議 出席者名簿

(敬称省略)

所 属	氏 名
酒田市地域包括支援センター なかまち	大内 剛
酒田市地域包括支援センター にいだ	宗 愛
酒田市地域包括支援センター はくちょう	小嶋 裕
酒田市地域包括支援センター かわみなみ	星川 真由美
酒田市地域包括支援センター ほくぶ	佐藤 涼子
酒田市地域包括支援センター ひがし	堀 由美子
酒田市地域包括支援センター やわた	渡部 桂
酒田市地域包括支援センター まつやま	阿部 涼子
酒田市地域包括支援センター ひらた	佐藤 立彦
酒田市 高齢者支援課 地域包括支援係	土井 小百合
酒田市 高齢者支援課 地域包括支援係	佐藤 元
日本海総合病院 病院改革推進室	池田 恒弥
在宅医療・介護連携支援室 ポンテ	佐藤 由枝
在宅医療・介護連携支援室 ポンテ	佐藤 美樹